

平成27年10月2日 第13号

やはたの丘

北九州市立八幡特別支援学校

校長 松永寿幸

チャレンジ雇用のT先輩、就職を決めました！

北九州市教育委員会にチャレンジ雇用され、4月から8月までの5か月間、校務員補助として働いていただいたT先輩ですが、9月より本校での業務を終了することになりました。5か月間、二人の校務員さんといっしょに学校内の清掃や草取りなど、たくさんの仕事をさせていただきました。毎朝、「おはようございます」「失礼します」と気持ちのいいあいさつで出勤し、校長室や職員室もきれいにさせていただきました。T先輩、本当にありがとうございました。9月1日（火）の始業式でも、全校児童生徒の前で感謝のことばを伝えました。

T先輩からは「仕事をがんばります」とあいさつをいただきました。

学校通信で報告するのが遅れてすみませんでした。T先輩のがんばりが認められ、今回、『なかむら整骨院のデイサービス』に就職することができました。T先輩も保護者の方もたいへん喜んでいました。

なお、チャレンジ雇用は、就職を目指している卒業生に対して北九州市教育委員会が実習助手補助や校務員補助として雇用し、働きながら就業に関する課題を解決し、卒業生の就業を支援するシステムです。まじめに働きたいという願いをもち、毎日、休まずに出勤して、本校の職員とともに勤務できることが大切になります。



職員朝礼でお別れのあいさつをするT先輩

運動会の練習に集中！



炎天下、運動場で『八養太鼓』練習する高等部3年生

10月11日(日)に向けて、各学部の運動会の練習にも気合が入っています。二年に一度の運動会ですが、今回の運動会は、今までとちょっと違います。第12号でも紹介しましたが、3年生が『八養太鼓』を運動会で披露します。炎天下、運動場で太鼓を出すところから練習しています。とても楽しみです。

もう一つは、運動会の最後の種目になりますが、小学部1年生から高等部3年生までの代



入場後、スタートラインに並ぶ小学部児童

表選手が出場する『紅白対抗リレー』です。小学部1年生から高等部3年生の代表選手44名が、チームのバトンをつないで一生懸命に走ります。全体練習では、入場と退場だけを練習しました。小学部1・2年生は、半周を走りますので、本部側か入場門側かを確認されてください。紅チーム、黄チームが紅組、白チームと青チームが白組の代表として、バトンをつないでチームで走ります。

九州歯科大学の久保田潤平先生にご支援いただいています

第12号でも紹介しましたが、専門医として九州歯科大学の久保田潤平先生にご指導をいただいています。唇で食べ物をとらえたり、そしゃくして嚥下したりする力が不足している児童生徒の指導について、専門的な立場から指導をいただいています。

唇で食べ物をとらえる捕食、そしゃく、ごっくんと一気に食べ物を飲み込む成熟嚥下など、食べる機能は、離乳期に離乳食を上手に食べるトレーニングを受ける中で獲得される力です。食べる機能は、離乳期の数か月間で獲得される機能です。離乳食を上手に食べるトレーニングをしないと獲得されません。久保田先生に食事場面の食べる機能の診察をお願いしたところ、70%の児童生徒に課題があることが分かりました。久保田先生の診察の後、『上唇をお



1年生の食事場面の診察をする久保田先生

ろしながら食べ物を取り込んでいない』『口唇を閉鎖して嚥下ができていない』など、食べる機能の課題と指導のポイントを示す『食事カード』を作成いただいています。そしゃく・嚥下の力が不足していると、将来、誤嚥、窒息など、命にかかわる事故にあうかもしれません。そうした事故にあわないように、しっかり食べることができる児童生徒にする必要があると願って

います。

児童生徒の中には、自力で食べる練習をしていた人が、食べる機能を高める指導により、食事の支援を受けることになった人もいるかもしれません。早い時期に食べる機能を高め指導や支援を行うことにより、しっかりと食べることができるようになります。三食のうち、二食は家庭で食べていますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。